



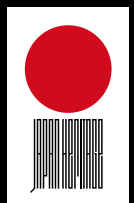
菊池川流域

シリーズ日本遺産 ⑬

菊池川流域「今昔『水稻』物語」

# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

問い合わせ先  
生涯学習課  
社会教育係  
☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索



大浜外嶋住吉神社年紀祭(水上神事)



権伝馬船の両端に陣取る踊り手の剣権踊り(左)と采振り(右)

## 五穀豊穰を祈るまつり ③

### 大浜外嶋住吉神社年紀祭

玉名市大浜町の大浜外嶋住吉神社で約10年に一度開催されており、次回は2020年5月上旬の予定です。年紀祭が生まれた時代は不明ですが、五穀豊穰のほか、年貢米や農産物を大坂(現在の大阪府)へ運ぶ船の航海安全と、豊漁を祈願するためのものといわれています。数日間に及ぶ祭りのクライマックスは、菊池川の河口をさかのぼる水上神事です。御座船3艘に大漁旗や紅白幕で飾る権伝馬船が3艘ずつ連なります。「ホーランエンヤ」の掛け声と、太鼓に合わせた漕ぎ手の櫂さばき、「剣権踊り」や「采振り」は圧巻で、大きな見所のひとつです。祭りが華麗で盛大になった背景には、大浜町が廻船問屋の町として発展し、文化的、

経済的に大きな繁栄を遂げたことがあげられます。それだけでなく、海で毎日危険と隣り合わせで生きる人々の、暮らしの平安を祈り、明日への活力を養おうという思いも込められています。

### 梅林天満宮流鏝馬

馬上から弓矢の的を射る流鏝馬は平安時代から存在し、江戸時代に神事として奉納されるようになったといわれています。玉名市東部にある梅林天満宮の秋季大祭で奉納される流鏝馬は、地元では「ヤクサンドン」と呼ばれて親しまれてきました。11月23日、祭りの世話役を務める節頭の精進小屋入りに始まり、24日には菊池川の水で身を清める汐取りを実施。25日の夕刻に、いよいよ流鏝馬が奉納されま

### 梅林天満宮流鏝馬

す。26日には御神体を次の節頭区へと引き継ぐ節頭渡しが行われ、全神事が終了します。流鏝馬の矢や的の材料は住民が山野から集めて作ります。農村に伝わる流鏝馬として今なお一連の神事が継承され続けている点が評価され、平成16年に県指定重要無形民俗文化財となりました。

(担当:玉名市文化課)



長さ400mの馬場で3つの的に矢を放つ流鏝馬が3回繰り返される



汐取りは梅林地区よりも河口に近い下流の小島地区で行われる

## イベント情報

■山鹿灯籠浪漫・百華百彩  
山鹿湯町・豊前街道の歴史ある町並みが、和傘や竹灯りのオブジェによって幻想的な雰囲気になります。当日は各種イベントも行われます。

日時 2月の毎週(土)午後7時~10時

場所 山鹿市山鹿 豊前街道(雨天時中止)

問い合わせ先  
山鹿温泉観光協会  
☎ 0968(4)2952

■玉祥寺このみやおどり  
(菊池市指定無形民俗文化財)

女装した男性2人が、歌に合わせて太鼓を叩きながら踊る独特の民俗芸能です。

日時 2月27日(水)午後7時~

場所 菊池市春日神社境内(玉祥寺423)

駐車場 菊池市玉祥寺公民館

問い合わせ先

玉祥寺このみやおどり保存会  
☎ 090(3733)2459  
担当:味府

Jap Heritage